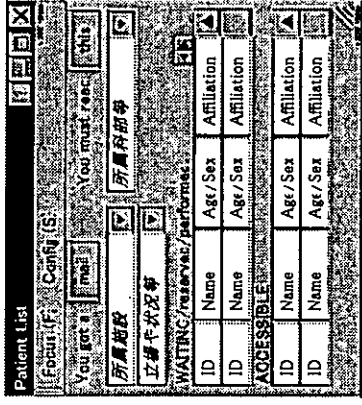
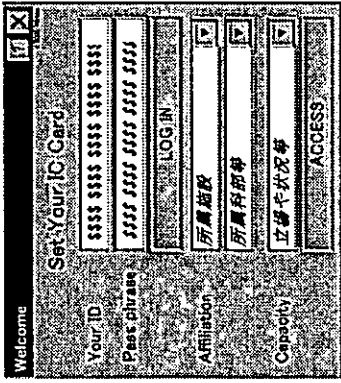


General

Menu and Button
このドキュメントの以降の説明、ならびに過去の廣瀬発表等、此れ迄、本研究班に提供した資料を参照のうえ類推のこと
その例
Patient List. には capacity override の機能あり (医科歯科・歯科)
ただしこれは、本年度は対象外とする

Ward

Some Dept



本ページは未定稿

Identifier

Certification

messaging with signature

messaging with signature

Authentication

Privilege Management

Access Control

messaging with signature

messaging with signature

本ページは未定稿

(argument)

maybe iteration

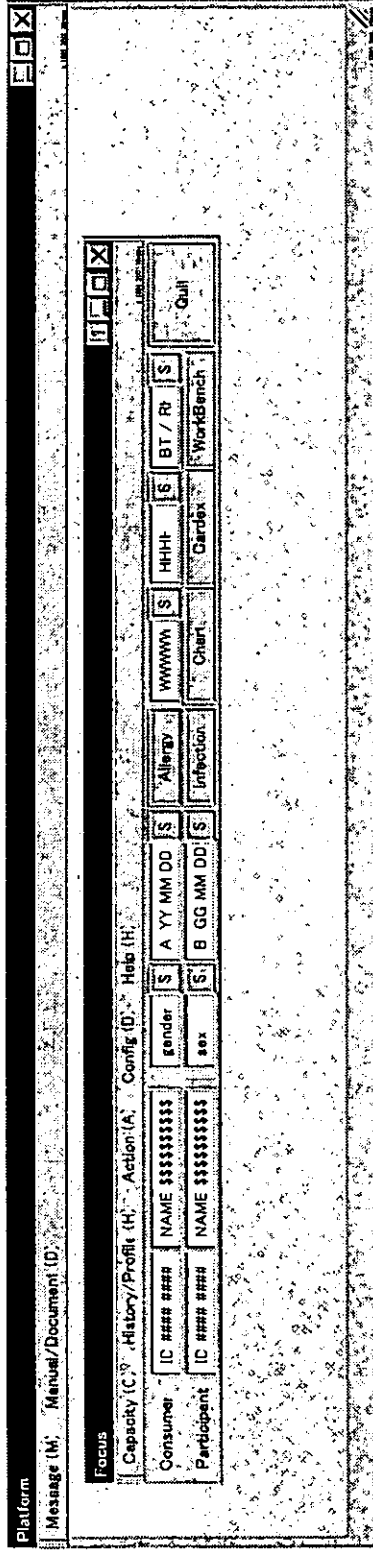
messaging with signature

messaging with signature

(argument)

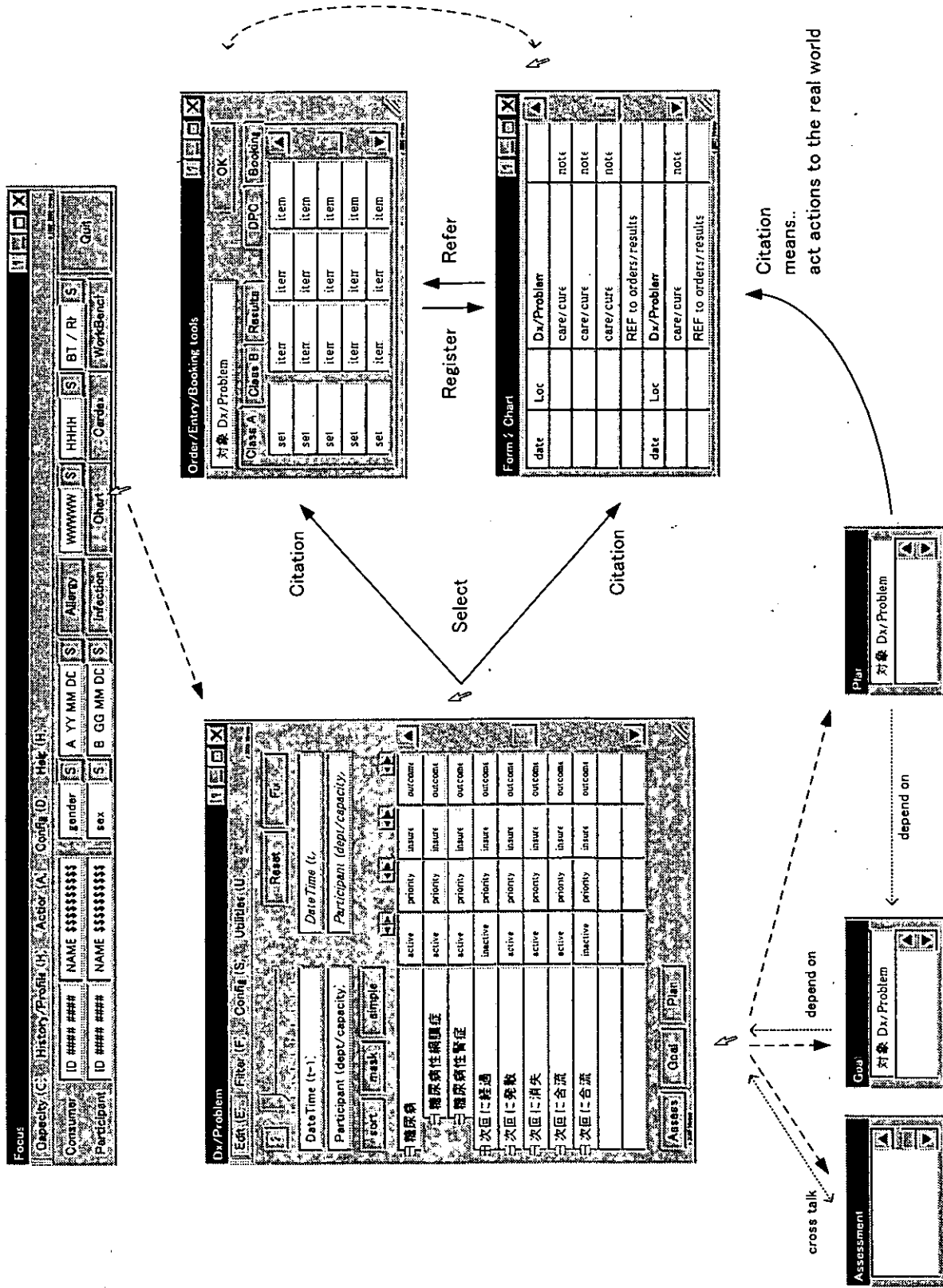
今年度の試作業務対象

このページの全てを対象外とすることは可能ではある。ただし、model や format 等についての策定は必要。

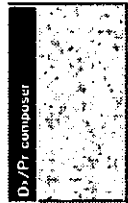
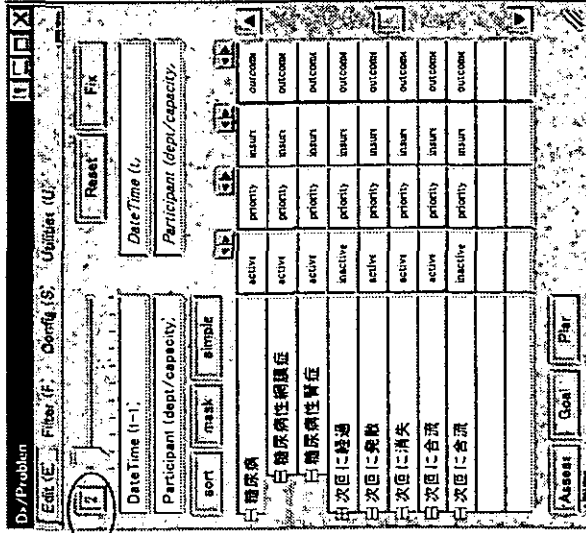


最終的には MDI を想定している。
Security 上の事由に拠る。つまり PKI や PMI を用いても、他のアプリケーションへ copy & paste できてしまうならば、容易に breach されてしまうことになる。
以降においては、Platform の表現を勘案して提示する。

- Capacity
 - 診療行為に関わるアクションについては原則として変更不可
 - 例外 # 1 医育における承認処理
 - 例外 # 2 外部施設への情報提供における承認処理
 - 場における権限委譲
 - 診療とは異なる workflow となるゆえ、画面 Platform のメニューとすべきか
- History/Profile
 - そのもの、当該コンテナが展開される、情報ソースも同時表示される必要あり
- Action
 - 各種のコンテナやツールの呼び出しメニュー
 - 抽象クラス コンテナ、エントリ、オーダ、ブック、ユーティリティ
 - (この詳細については過去の発表および仕様書を参照のこと。)
 - 中核的畫面 プロブレム変遷エディタ、病名プロブレムコンポーザ、2号様式画面
- Config
 - そのもの、当該コンテナが展開される、
 - Platform および Focus に関する ユーザごとの初期設定を行う
- Help
 - そのもの
- 今年度の試作実装対象
 - 今年度の試作実装においては SDI にて可とする
 - Consumer 表示情報(複数値のサンプル xml)
 - Participant 表示情報(複数値のサンプル xml)
 - Chart ボタン → Problem コンテナ (= Problem transition エディタ)
 - Quit ボタン
 - その他のメニューやボタンは、表示のみ。【以降、同様】
- Infection
 - そのもの、当該コンテナが展開される、情報ソースも同時表示される必要あり
- Allergy
 - そのもの、当該コンテナが展開される、情報ソースも同時表示される必要あり
- Cardex
 - 当該コンテナと必要なツールが展開される、
 - 職種等にて視点の器を支持するために Config によるユーザ毎の設定も要する、
 - 1997 発表を参照のこと、今年度は対象範囲外
- Workbench
 - 当該コンテナ(と必要なツール)が展開される、
 - ただしコンテナ数は複数なので、Config によるユーザ毎の設定も要する、
 - 1997 発表を参照のこと、今年度は対象範囲外
- S
 - 情報ソース (data/information source) とその履歴および限定設定
 - 10 数年来の廣種論文もしくは関わった各種仕様書を参照されたし
- Quit
 - そのもの、全ての処理は確定される、ただし suspend 事項は除く、
- 情報ソースの表示と扱いについて
 - hover デフォルト機能、それで足りる情報/状況・と、それで満足するユーザに
 - expire 有効だが、そのみでは管理できないと思われる
 - config 要するに、ユーザ毎の filtering 設定である



Pane selector.
ペイン数 選択ボタン
1 pane
一般的な 1 号様式画面、として機能
他の機能画面との入出力は、以下の通り
なお Fix ボタンをクリックするか、order/entry/booking が確定されると
そのリストが、その時点のリストとして確定される
註: 「Dx/Problem composer」を使用できない。panes に自動展開
panes
病名キプロブレムを追加する場合に使用する
また、それらの属性を変更する場合にも、panes に展開されることを推奨
panes
病名キプロブレムの推移を参照しつつ新たなリストを形成する場合に使用



Dx/Problem composer

- Dx/Problem composer, の呼出
以下のいずれか (全てサポートされるべき):
Dx/Problem, の編集 pane の空白でダブルクリック
Dx/Problem, の編集 pane の空白で右クリック
Focus の Action (A), メニュー
Focus の Config (S), での事前設定
Platform, の空白で右クリック
■ Dx/Problem, への入力
Dx/Problem composer, にて相立てを確定した際に
自動版に

Order/Entry/Booking tools

- tools, の呼出
以下のいずれか (全てサポートされるべき):
Dx/Problem, の Dx/Pr を
Platform, の空白へドラッグ (次項と同値);
Platform, の空白で右クリック
Dx/Problem, の Dx/Pr を右クリック
Focus の Action (A), メニュー
Focus の Config (S), での事前設定
■ tools, への入力
Dx/Pr を選択して上記オペレーションした場合、
当該 Dx/Pr が自動入力される
そうでない場合は以下のいずれか (全てサポート):
Dx/Problem, からドラッグ&ドロップ
Dx/Problem, の Dx/Pr を右クリック
■ Form & Chart, への登録
tools, での内容を確定した際に自動版に

Form & Chart

- Form & Chart, の呼出
以下のいずれか (全てサポートされるべき):
Dx/Problem, の Dx/Pr を
Platform, の空白へドラッグ (次項と同値);
Platform, の空白で右クリック
Dx/Problem, の Dx/Pr を右クリック
Focus の Action (A), メニュー
Focus の Config (S), での事前設定
■ Form & Chart, への入力
tools, や containers, を介してのみ

Compose Entry

Citation

Select

Citation

Refer

Register

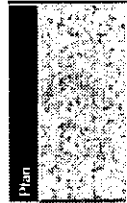
Citation

参照

1996 診療プラットフォームのヒューマンインタフェース
1997 JAMI Symposium, Seagala, M. Technology, JCM

今年度の試作要録対象

Dx/Problem composer ならびに Dx/Problem



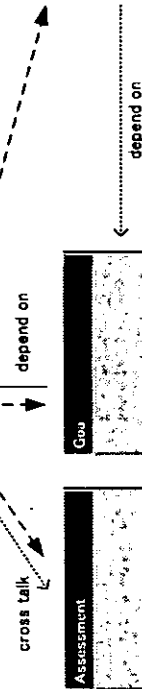
Plan



Goal



Assessment



Dx/Problem_composer

- Dx/Problem composer. の呼出
以下のいずれか (全てサポートされるべき)
Dx/Problem. の編集 pane の空白でダブルクリック
Dx/Problem. の編集 pane の空白で右クリック
Focus. の Action (A) メニュー
IFocus の Config (S) での事前設定
IPlatform. の空白で右クリック
- Dx/Problem. への入力
Dx/Problem composer. にて組立てを確定した際に自動的に、
なまターゲットは
【診療業務の場合】
原則として「Dx/Problem.
ただし以下の場合には、当該アクティブ「tool/container.
{tool/container. に citation された Dx/Problem を
ダブルクリック等してそれを 編集する場合。
【変遷のモデリング】
Dx/Problem Transition Model Editor.

■ 準拠コード
MEDIS-DC 標準病名集

Dx/Problem_compositor

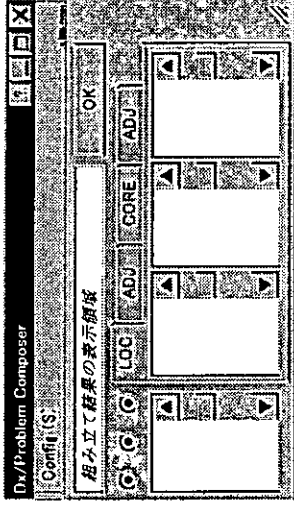
- Diagnosis (Dx. vs Problem
☆☆ 若平の解説と情報ソース ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
☆☆ 若平の解説と情報ソース ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
- Composition
Location LOC + Adjective(s). ADJ + core CORE + ADJ
(左 + 下類. + (急性 + 化膿性. + (骨髄炎. + (疑い.

Inside_desig

- Expression
inner expression ontology (操作実装のため.)
Outer expression ontology
- Master
0.9x.atst.cs.xsd の形式として実装
- Constraint expression
可能ならば付加したい

今年度の試作実装対象

- inner design
constraint expression 以外の全て
Human interface design
以下を除く全て
Config (S).
視点操作
- 註
機能画面間の入出力については必
ただし「Dx/Problem. については必須



Human interface design

- Design concept
1996 発表ほかを参照のこと
- Fundamentals
タグ
部位
先付け修飾語
コア病名
後付け修飾語
ペイン
視点: 大分類, 中分類, 小分類
スクロールバーは、ペイン毎に独立して作動。
大分類または中分類において入力できない事項 *Italic* ?
病名とプロブレムの判別 ?
- Filtering/Focusing
視点 (ラジオボタン + 左端のタグ外のリストボックス,
科+部, 方向など, 解剖系統
LOC
CORE
CORE
ペイン数
本質的には、多くの場合、3程度で足りるが、それを表現するには
コード体系によっては、実装において「まるめ、等が必要となる。
そのことと、さらに実用上では、診療科部の特性を踏まえた表示
設定が欲しくなる。よって前住地では4としていたと記憶している。
4以上のペインが欲しく思うことはままあるが、他の機能画面との
間で、面積占有に開ける「衝突」があるため、この程度が実用範囲
かと思われる。
なお前住地では、他診療科の使いやすい画面展開を利用して、
自診療科のものを使わない、というスタブアップもいた。

Edit

そのもの、かごデフォルト 機能画面のステータス ゆえ、不要かも

Filter

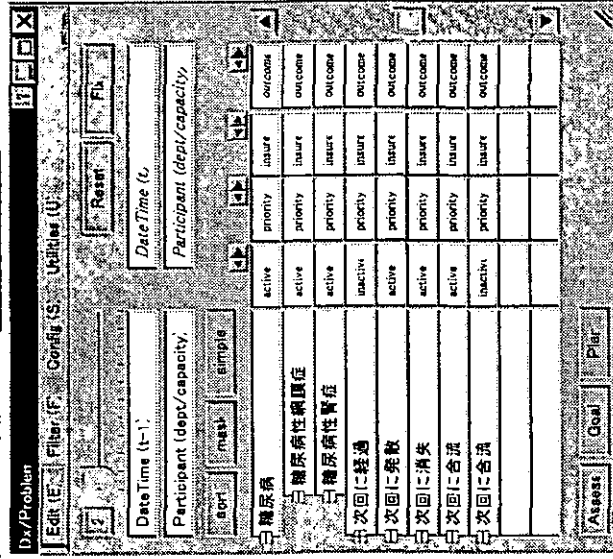
mask ボタンの初期設定の 設定 ユーザ毎

Config

sort ボタン、mask ボタン、simple ボタンの機能の全ての初期設定の 設定 ユーザ毎

Utilities

どのような機能を付加してもよいが、以下を想定している
ある時点の一つの PL に焦点した際、前後のリンク全ての抽出
典型的な変遷モデルの参照 など もちらみ ontology 上



今年度の版作業対処

Edit (E): 上記の通りゆえ不要かも

Utilities (U):

抽出のみ

スライダ

sort, mask, simple / detail

Reset, Fix

▲

スクロールバー

数字

ペイン数 選択ボタン (切り替え) 1 → 2 2 台

1 pane

一般的な「1身構式画面」として機能

他の機能画面との入出力は、以下の通り

なお Fix ボタンをクリックするか、order/entry/booking が確定されると

そのリストが、その時点のリストとして確定される

註:「Dx/Problem composer」を使用できない、2 panes に自動展開

2 panes

病名やアプロブレムを追加する場合に使用する

また、それらの属性を変更する場合にも 2 panes に展開されることを推奨

: panes

病名やアプロブレムの推移を参照しつつ新たなリストを形成する場合に使用

スライダ

特定時点の Problem List の(大きな) 移動と表示

sort

登録順、priority 順、rank 順

mask

非限定/一択および全指定 診療科種、診療グループ、active/inactive、Dx/Problem

左記のデザインでは省略しているが、masking が在るこのこと、status 表示は必須である

simple / detail

階層性の表示/非表示の切り替え 階層性の pane 数は Config (S) の設定に依存する

1号様式保険関係病名に関わる階層性

登録者 (affil + a 府)、登録年月日、適用保険種別、転帰、転帰登録者、転帰年月日

主に臨床的または社会的な見地に關わる階層性

priority (主病名として代用)、rank、代替病名 (権限に拠る可視性あり)

Reset

編集事項の全リセット

Fix

編集事項の全確定

▲

階層性表示の切り替え

スクロールバー

全 pane の同時スクロール

Assess

当該時点の PL と対応した Assessment コンテナの呼び出し

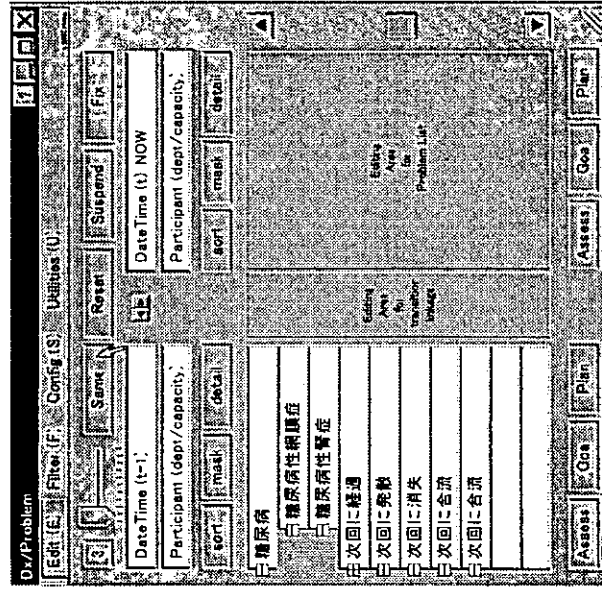
Goal

当該時点の PL と対応した Goal コンテナの呼び出し

Plan

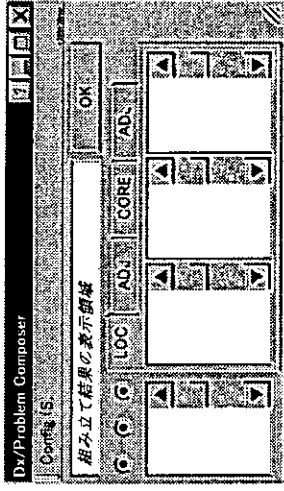
当該時点の PL と対応した Plan コンテナの呼び出し

- Same
直前時点の PL の「全単写、および「相応リンク」の自動生成
- Suspend
編集途中での logoff 機能の支援
- ▲
過去の PL の、単一時点ごとのスクロール
- Editing Area
Problem と Problem List の編集領域 本研究主題の核心

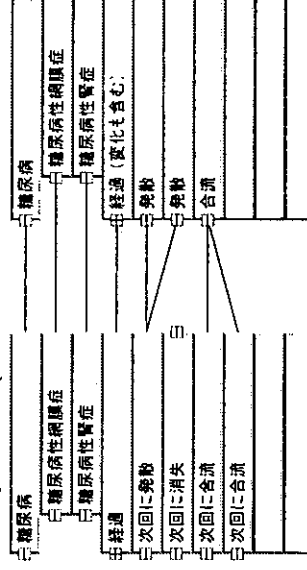


その他
スクロールバー
Assess, Gola, Plan
二つの pane が連動して動作
その時点において独立して動作

今年度の試作業務対象
Same
▲
Editing Area



Compose
Entry



1. Same button
 2. Add
 3. Divergence (transition linkage)
 4. Disappear (* handling *)
 5. Convergence (transition linkage)
- Dx/Problem compose tool

Same

直前時点の PL の「全単写、および「相応リンク」の自動生成

Suspend

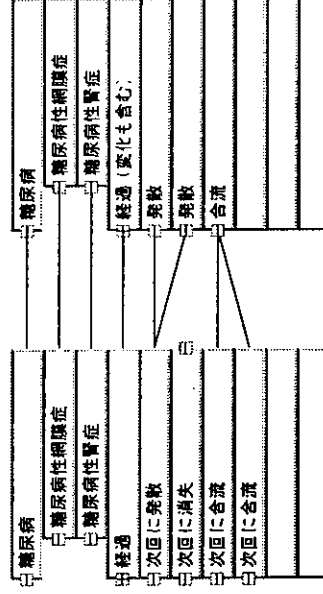
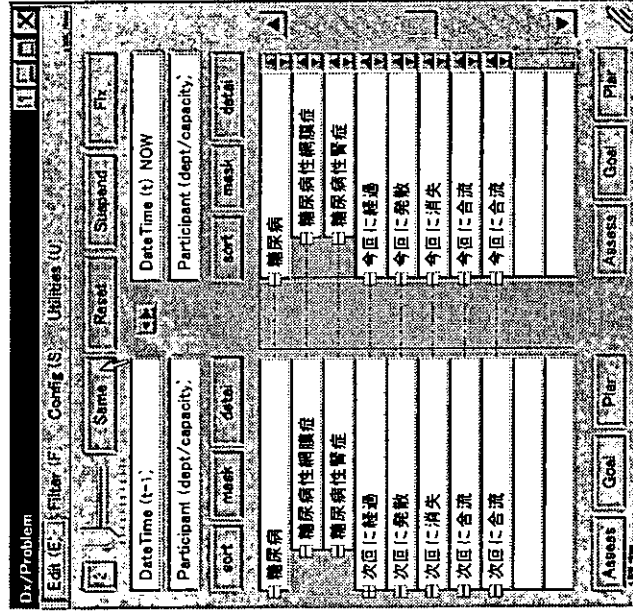
編集途中での logoff 権限の支援。

▲

過去の PL の、単一時点ごとのアクセス

Editing Area

Problem List の編集領域、本研習主題の表示。



1. Same button

2. Add

Dx/Problem compose tool

3. Divergence (transition linkage)

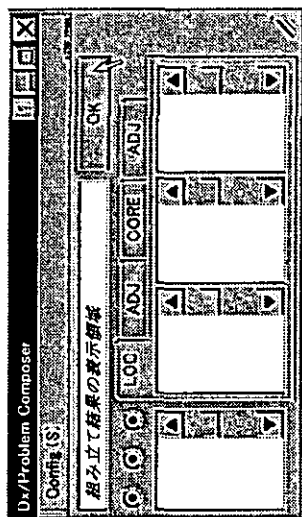
4. Disappear (* handling *)

5. Convergence (transition linkage)

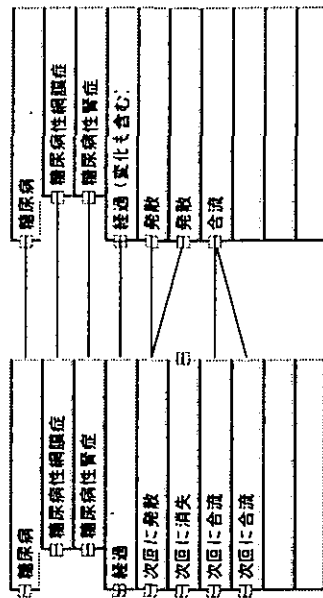
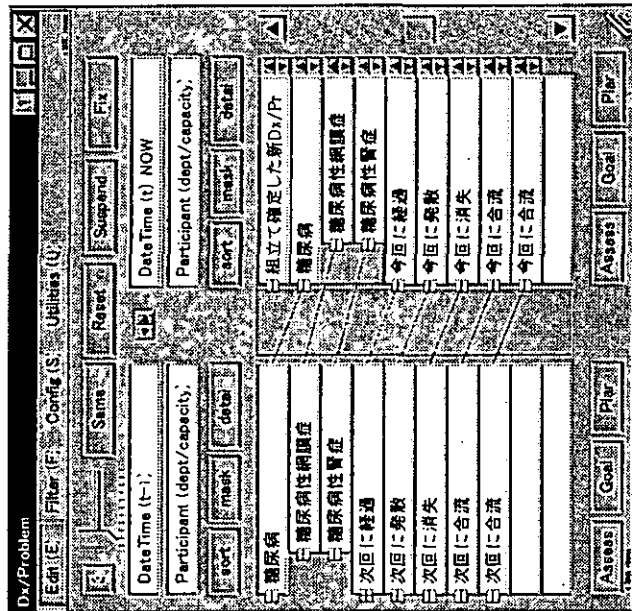
今年度の試行業務対象

概出

- State 意前時点の E の 全表示、および目録表示、の自動生成
- Suspend 編集途中での logoff 機能の実装。
- ▲ 通知の E の、単一時点でのスクロール
- Editing Area Problem と Problem List の編集領域、本研班主題の移植。



Compose Entry



1. Same button
2. Add

- Dx/Problem compose tool
3. Divergence (transition linkage)
 4. Disappear (* handling *)
 5. Convergence (transition linkage)

今年度の研作業進捗表
既出

Save

印刷時点の PL の「全学号」または「所属リンク」の自動生成

Save/Print

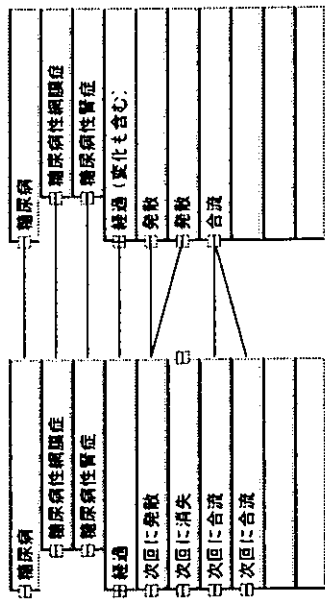
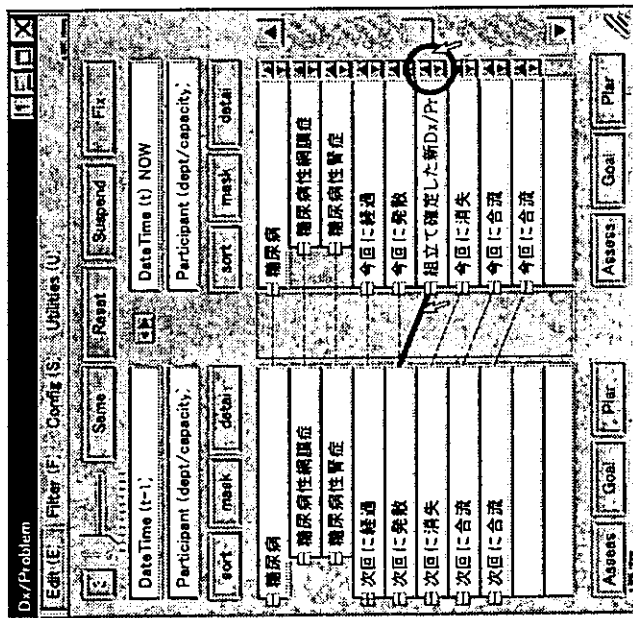
編集途中での logoff 機能の支援。

- ▲ 通常の PL の 単一問題ごとのアクセス

Editing Area

Problem と Problem List の編集領域、本研究主題の核心。

- ▲ 編集中の PL における表示順の入れ替え



1. Same button
2. Add Dx/Problem compose tool
3. Divergence (transition linkage)
4. Disappear (* handling *)
5. Convergence (transition linkage)

今年度の取組支援対象
▲ 編集PLでの PL の表示順の入れ替

Screen

道前時点の ECR の企業名、および補綴シフトの自動生成

Suspend

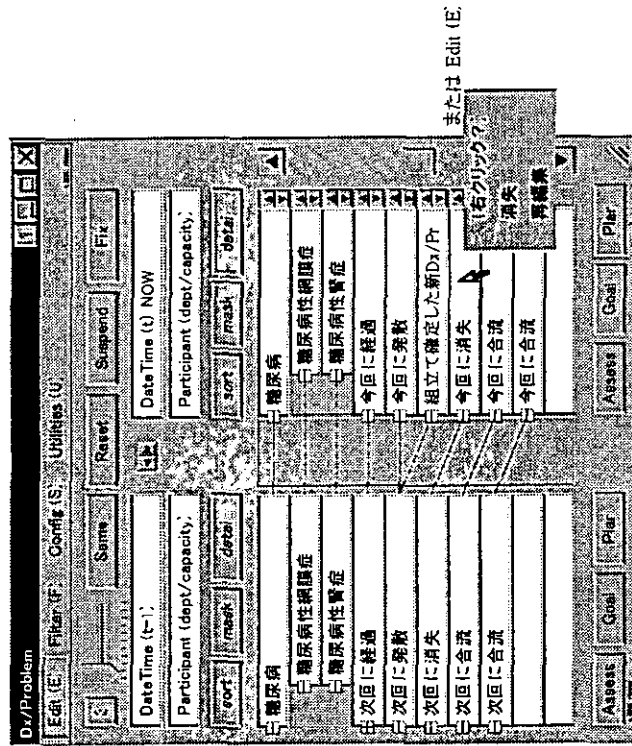
編集途中での logoff 状態の女孩。

▲ 過去の ECR の、新しい時点でのスケジュール

Exiting Area

Problem List の編集領域、本研修課程の修正。

▲ 編集中の ECR における変更履歴の入れ替え



1. Same button

2. Add

Dx/Problem compose tool

3. Divergence (transition linkage)

4. Disappear (* handling *)

5. Convergence (transition linkage)

今年度の試作業対象

▲ (既出の追加定義)

Setup

遷移時点の PL の全書き、および目録添付シートの自動生成

Setup

無症状患者の logoff 履歴の登録。

▲

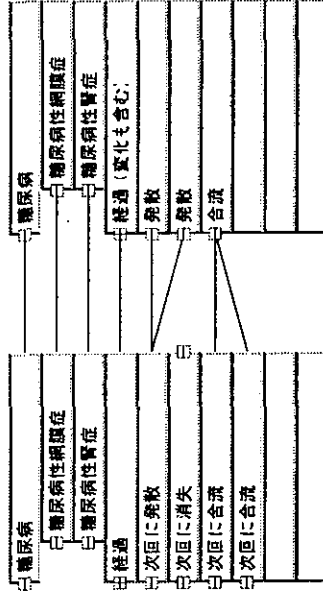
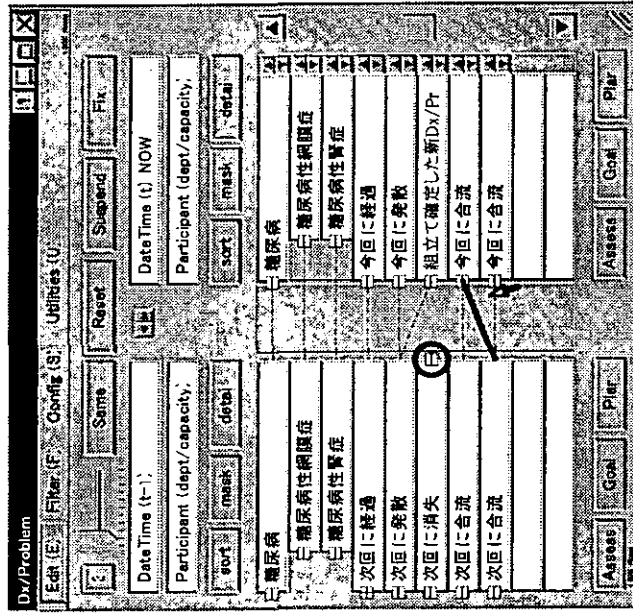
遷移時点の PL の、単一時点でのスクリーン

Editing Area

Problem と Problem List の編集領域、本研究主題の核心。

▲

編集時の PL 上に表示される症状の入り替え



1. Same button

2. Add

Dx/Problem compose tool

3. Divergence (transition linkage)

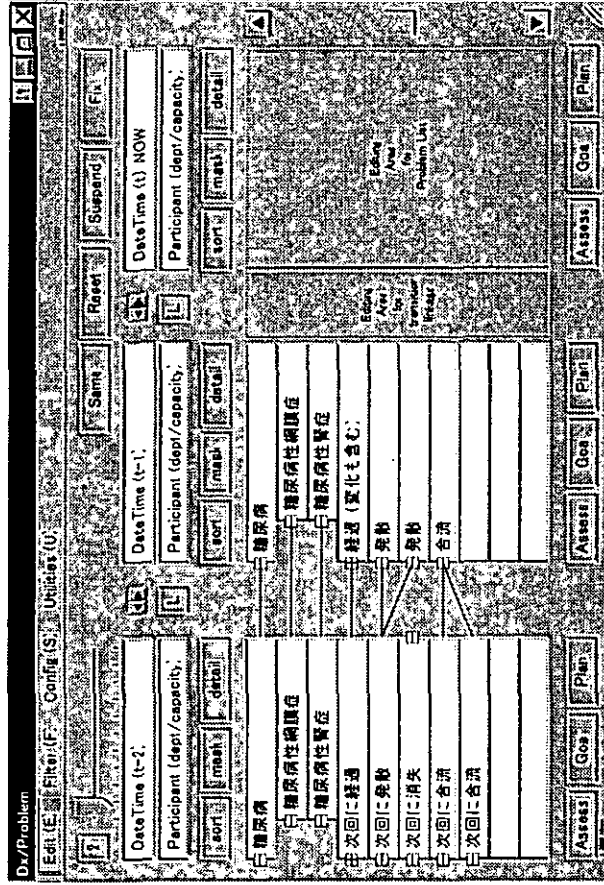
4. Disappear (* handling #)

5. Convergence (transition linkage)

今年度の試作業務対象

既出

- ▲ 既出 過去の PL の、単一時点ごとのスクロール
なおデフォルトでは、左右いずれの当該ボタンをクリックしても、
t-1 と t-1 とは運動する
- L 当該 pane の Lock
このとき、Lock された pane は、上述の ▲ をクリックしても、時点は動かない
- 註 上述ふたつの機能において、
変遷リンク線は、(1) 相隣合う時点ならば 突脚
(2) 相離れた時点ならば 破線



- ▲ 今年度の取作要録対象
▲ (既出の追加定義)
L (既出の追加定義)
註 (既出の追加定義)

Dr./Problem

Edit (E) Filter (F) Config (S) Utilities (U)

2

Date Time (t-m) Participant (dept/capacity)

sort mask detail

糖尿病 糖尿病性網膜症

発熱

中 次回に経過

腹痛

多飲

嗜痰

中 次回に経過

頻尿

中 下痢

Assess Goal Plan

Same

Date Time (t-*) Participant (dept/capacity)

sort mask detail

糖尿病 糖尿病性網膜症

糖尿病性腎症

中 経過 (変化も含む)

追加

追加 (次回に合流 子)

合流 (次回に合流 子)

Assess Goal Plan

Reset

Date Time (t) NOW Participant (dept/capacity)

sort mask detail

糖尿病 糖尿病性網膜症

糖尿病性腎症

中 経過 (変化も含む)

中 子

経過 (変化も含む)

Assess Goal Plan

Suspend

Fix

今年度の鼠作要基対象
既出



Dx/Problem Composer
Confie (S)

Close

ADJ CORE ADJ Search

臨床病名分類	病名表記	交換コード	ICD10	単独	病名	コード
症状と徴候、検査所見	アトリアルスタントスタイル	M8FK	I498	00	アト	I498
神経・筋疾患	異所性調律	HF7R	I498	00	イシヨ	I498
精神疾患	期外収縮	PDK7	I494	00	キガイ	
呼吸器疾患	起立性調律障害	QN8Q	I499	00	キリツ	I499
循環器疾患	呼吸性不整脈	FTDA	I498	00	コキエ	I498
高血圧症	三段脈	JM9S	R008	00	サンダ	
心疾患	心室細動	M82Q	I490	00	シンジ	
先天性心疾患	心室粗動	VFU4	I490	00	シンジ	
低血圧症	心房細動	QE03	I48	00	シンボ	
不整脈	心房粗動	TD18	I48	00	シンボ	
毛細血管疾患	接合部調律脈	FC54	I492	00	セツゴ	I492
動脈疾患	絶対性不整脈	AGTK	I48	00	セツダ	I48
静脈疾患	洞性不整脈	AGRD	I498	00	ドウセ	I498
リンパ管疾患	洞不全症候群	JA2L	I495	00	ドウフ	
血管系の先天奇形	二段脈	M1UG	I494	00	ニダン	I494
心血管系の感染症	頻拍症	Q9EP	R000	00	ヒンパ	
消化器疾患	副収縮	RN3U	I493	00	フクジ	I493
腎尿路疾患	ランゲニールゼン症候群	STLS	I490	00	ランゲ	I490
男性性器疾患	ロマンワール症候群	L A0G	I490	00	ロマン	I490
血液・造血器・リンパ系疾	QT延長症候群	LUV4	I490	00	QTT	I490
内分泌疾患						
代謝・栄養障害						

Dx/Problem Composer
Config(S)

歯門癌

ADJ CORE ADJ

Search

病名表記	交換コード	ICD10	単性	病名
胃癌末期	D7CN	C169	00	イカ
胃進行癌	MLL8	C169	00	イシ
胃重複癌	L7NR	C169	00	イシ
胃体部癌	KB24	C162	00	イタ
胃底部癌	LHL7	C161	00	イテ
胃の上皮内癌	K351	D002	00	イバ
胃噴門部癌	FKFP	C160	00	イフ
胃幽門部癌	HDF2	C164	00	イロ
残胃癌	CTDB	C169	00	サン
スキルス胃癌	PJ0U	C169	00	スキ
早期胃癌	EMS8	C169	00	ソウ
噴門癌	L3RF	C160	00	フク
幽門癌	LLJT	C164	00	コウ
幽門前庭部癌	MGRC	C163	00	コウ

LLJT歯門癌 C164 歯門癌

Dx/Problem Composer
Config(S)

早期歯門癌

ADJ CORE ADJ

Search

修飾語区分	修飾語表記	交換コード	接他コード	接続
- AgingStage	再破裂	4CPC		14
- Anatomy	蚕食性	5265		14
- Artifact	自然	8QAL		32
- ClinicalStage	初発	1NTB		60
- Cyclicity	進行性	1332		60
- Etiology	術後	0FJP		32
- EventStage	術後後遺性	2VUT		32
- ExpressionAndMultiplicity	術後性	3009		32
- NotClassified	術中	9GDV		32
- Ordinal	成熟性	2T2V		14
- Pathology	切除後	3D39		32
- Problem	切除後再発	0ER8		60
- Severity	遷延性	2487		60
- Sex	自発性	1E08		60
- Topology	早発性	2437		60
- Type	続発性	1238		32
	遅発性	1345		60
	陳日性	1347		14
	二次性	1847		50
	二次的	6F3J		32
	妊娠	5MT1		14
	妊娠性	3917		14
	晩期	5DQP		60
	晩発性	2372		60

LLJT:1303歯門癌・早期 C164 早期歯門癌

Dx/Problem Composer
Config

早期幽門癌の疑い

ADJ CORE ADJ

Search

修飾語区分	修飾語表記	交換コード	排他グループ	接続
AgingStage	妊娠6カ月	4U2S	W000	6
Anatomy	妊娠6週	8RTH	W000	6
ClinicalStage	妊娠7カ月	3HF8	W000	6
Etiology	妊娠7週	60TK	W000	6
EventStage	妊娠8カ月	5K8A	W000	6
ExpressionAndMultiplicity	妊娠8週	65N2	W000	6
Pathology	妊娠9カ月	737C	W000	6
Problem	妊娠9週	1KKJ	W000	6
Severity	初発	5395		1
Type	の緩解期	5401	tste	8
	の急性増悪	5403	tste	8
	の後遺症	1631	tste	5
	の再発	66NA		8
	の再発	1329	KAIS	8
	の初期	1111	tste	2
	の初発	2872	KAIS	8
	の術後	1486	njo	3
	の術後障害	4953	njo	3
	の術前	6UK6		3
	の遷延	1349	tste	8
	の発作	5396		9
	の末期	5397	tste	2
	末期状態	59FD	tste	4

LLJT+1303+5395:幽門癌+早期+の疑い;C164:早期幽門癌の疑い

DummyBox

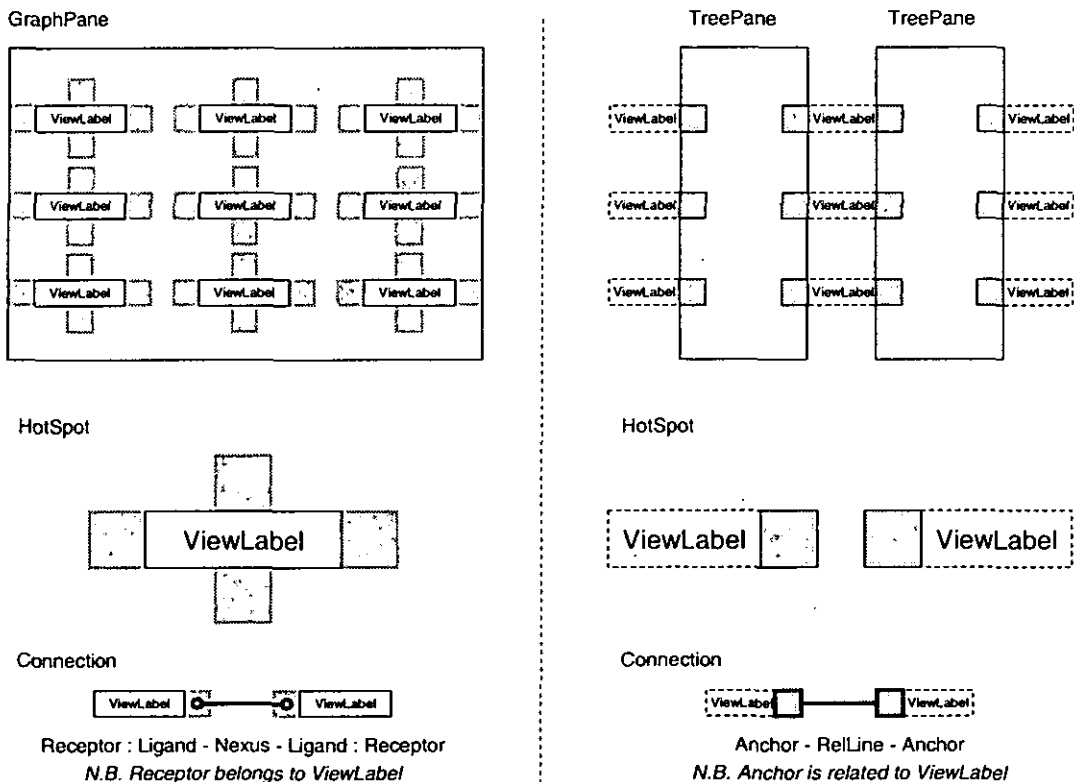
ここに病名がドロップされる

早期幽門癌の疑い

ダブルクリックがコンテキストメニューで
DxPr. Composer起動

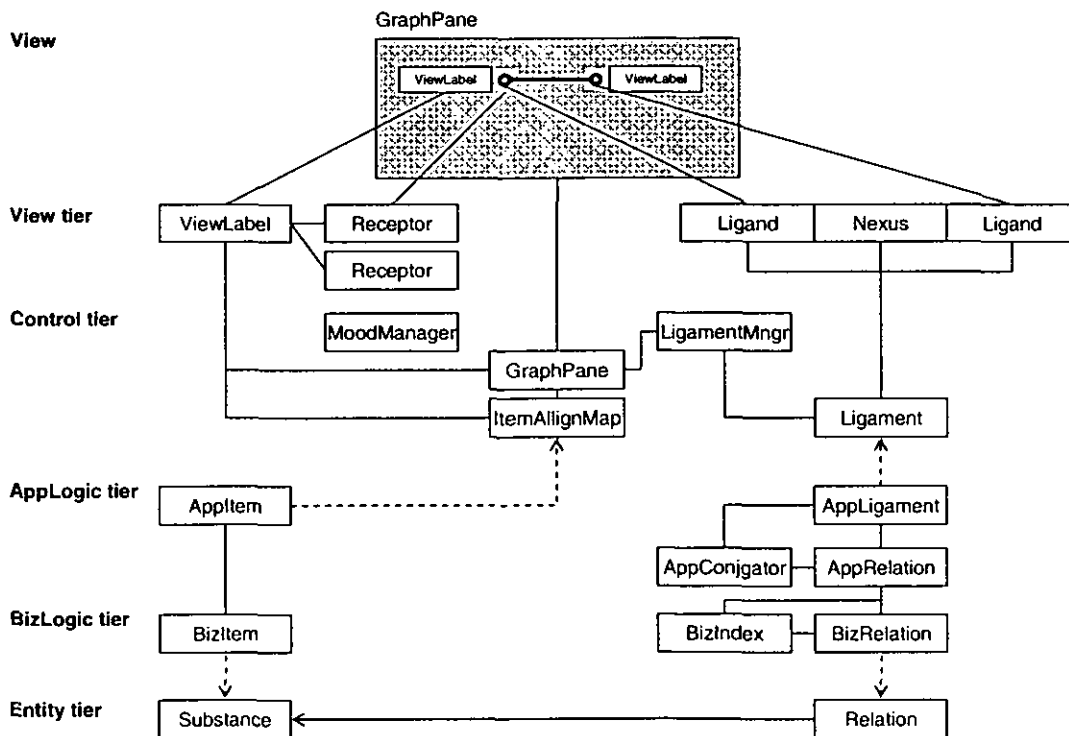
ここは内部データの確認用

LLJT+1303+5395:幽門癌+早期+の疑い;C164:早



©2003-2004 Prof Hirose

1

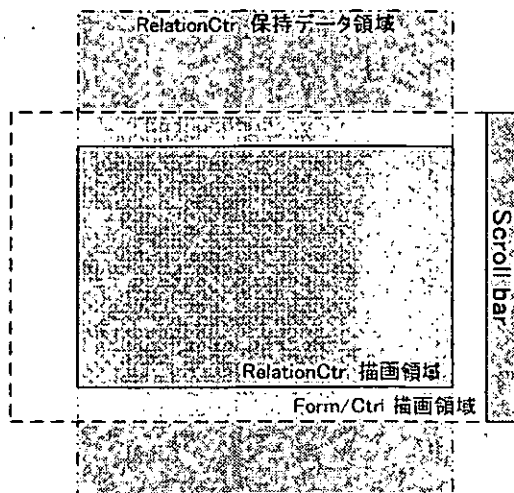
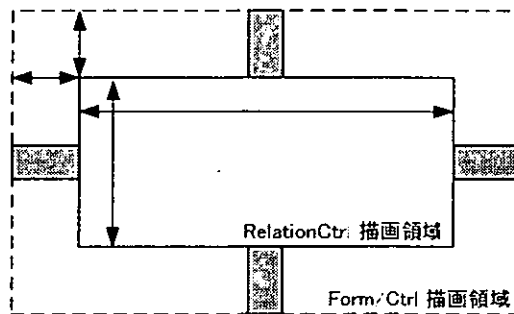


©2003-2004 Prof Hirose

2

Location	Windows Form または その Contro (Panel など)において RelationCtrl の Location を指定できること 一般的なコントロールの Location と同等
Size	Windows Form または その Contro (Panel など)において RelationCtrl の Size を指定できること 一般的なコントロールの Size と同等
Anchor	Windows Form または その Contro (Panel など)において RelationCtrl の Anchor を指定できること 一般的なコントロールの Anchor と同等
Dock	Windows Form または その Contro (Panel など)において 他の画面コントロールとの Dock の可否を指定できること 一般的なコントロールの Dock と同等
scroll	Windows Form または その Contro (Panel など)において Form や Panel がスクロールされた場合 それに応じて RelationCtrl の データ領域が RelationCtrl の 描画領域に 表示されること 一般的なコントロールと同等 なお下記に付記あり

註
 後述する AnchorHorizontalInterva は Size Width によって RelationCtrl が 算出し設定すること
 その最小値は 0pt とする
 なお AnchorAreaSize は縦横とも 12pt であることから RelationCtrl Size Width の最小値は 24pt とする



scroll
 RelationCtrl が貼り付けられた 他のコントロール (panel 等) がスクロールされたら それに応じてスクロールされる
 なお RelationCtrl 内での上下左右スクロールの On/Off が可能であれば より嬉しい